

気候情報

2015年11月の日本の天候

- 全国的に気温が高く、沖縄・奄美では月平均気温の記録を更新した
- 北・東日本太平洋側と西日本で、降水量がかなり多く、日照時間がかなり少なかった

11月の天気概況

西日本を中心に、低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多くなったため、北・東日本太平洋側と西日本で多雨・寡照となり、月間日照時間は西日本日本海側、西日本太平洋側共に平年比73%で、1946年の統計開始以降で最も少ない記録となった。また、期間を通して、北からの寒気の流れ込みが弱く、さらに南からの暖かく湿った気流の影響で、全国的に気温の高い日が多かった。特に中旬は記録的な高温となり、月平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、沖縄・奄美で平年差+1.7°Cと、1946年の統計開始以降で最も高い記録を更新した。

上旬：全国的に低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。

旬平均気温は、北・東・西日本と沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北・東・西日本太平洋側で多く、北日本日本海側で少なかった。東・西日本日本海側と沖縄・奄美は平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側で多く、西日本で少なかった。北日本太平洋側と東日本、沖縄・奄美は平年並だった。

中旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わったが、低気圧や前線の影響を受けやすく、東・西日本を中心に曇りや雨の日が多かった。西日本日本海側と西日本太平洋側では、旬降水量が平年の329%と418%となり、1961年の統計開始以来、11月中旬としては最も多い記録を更新した。また、北からの寒気の影響が小さく、旬平均気温は、東日本では平年差+3.2°Cで歴代1位タイ、西日本と沖縄・奄美ではそれぞれ平年差+3.6°Cと+2.7°Cで高温の記録を更新するなど、全国的にかなり高くなった。

旬平均気温は、北・東・西日本と沖縄・奄美でかなり高かった。

旬降水量は、東日本太平洋側と西日本でかなり多く、北日本太平洋側で多かった。一方、北日本日本海側ではかなり少なく、東日本日本海側と沖縄・奄美は平年並だった。

旬間日照時間は、東日本太平洋側と西日本日本海側でかなり少なく、西日本太平洋側では少なかった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美では多く、北日本太平洋側と東日本日本海側は平年並だった。

下旬：旬の前半は高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。東日本以西では気温の高い状態が続いたが、旬の後半には、冬型の気圧配置となって全国的に寒気が南下して気温が低くなったほか、日本海から北日本を通過した低気圧の影響で北日

本では大荒れとなり、北海道では大雪となった。西日本でも山沿いでは積雪となり、広島など各地で初雪や初冠雪を観測した。

旬平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美で高く、北日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側でかなり多く、北・東日本太平洋側では多かった。一方、西日本太平洋側と沖縄・奄美で少なく、東・西日本日本海側は平年並だった。

旬間日照時間は、北日本太平洋側と西日本日本海側でかなり少なく、東日本と西日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美ではかなり多く、北日本日本海側は平年並だった。

11月の気候統計

月平均気温：北日本で高く、東・西日本と沖縄・奄美でかなり高かった。

月降水量：東日本太平洋側と西日本日本海側で多く、北日本太平洋側と西日本太平洋側でかなり多かった。一方、北日本日本海側では少なかった。東日本日本海側と沖縄・奄美は平年並だった。

月間日照時間：東日本日本海側で少なく、北・東日本太平洋側と西日本でかなり少なかった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美では多かった。

(気象庁観測部情報管理室)

11月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（°C）
長野 10.2 京都 14.5 など11か所
- ・月間日照時間少ない方から（h）
大分 89.9 徳島 97.6 など5か所

2015年11月の平年差（比）図

